

優 秀 賞

「この世の中での協力」

中札内中学校一年 内野沢 俊

昔から、女だったらこれ、男だったらこれとそれぞれの役割が決まっていたのではないが、ほぼ決まっていたような状態でした。でも今の世の中では、そのような「やり方」では人々の生活は続いていかないと思います。

女は家庭の仕事、男は働いて金を稼ぐという生活だったり、最近も女を批判する発言をするなどといった、それぞれが十分に力を発揮することができていない世の中でもあります。

この世の中を改善するには、女と男、それだけではなく、一人ひとりの個性や得意分野を活かせる仕事や働き方を進めていくことが大切になってくると思います。例えば、力仕事が得意な女の人は力をつかう仕事を、家事や料理が得意な男の人は、家で家事をするなどと、得意分野を活かせる仕事をすれば、人手不足が解消されたり、仕事をする本人も楽しく続けられることができるきっかけにもなると思います。

お互いがお互いを理解して、認め合い、ときには

許し合えば、それぞれが自由に仕事を選んだり、楽しく生活ができるようになると思います。